

事 業 報 告 書
会 計

(昭和45年度)

前沢4丁目自治会

昭和46年度事業計画及び予算(案)

(自昭和46年4月1日)
(至昭和47年3月31日)

収入の部

前沢4丁目自治会

科 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	51,095 ^円	(銀行預金)
会 費	120,000	(46年4月1日現在会員94世帯)
雑 収 入	3,000	預金利息外
そ の 他		
合 計	174,095	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
印刷及び文房具費	30,000 ^円	文具、消耗品、印刷費
慶 弔 費	10,000	
分 担 金	5,000	道路交通対策協議会外分担金
事 業 費	85,000	文化、交通安全、保健衛生、防火防災各事業費
会 合 費	15,000	総会、常任委員会、地区会合費
通信及び交通費	15,000	電話料、交通費
雑 費	5,095	
予 備 費	9,000	
合 計	174,095	

事業報告書

会計

昭和 45 年度（昭和 45 年 3 月 22 日〔自治会設立日〕より昭和 46 年 3 月 31 日に至る期間）の、当自治会の事業並びに会計について、下記の通り報告します。

なお、本年度は発足の初年度でもあり運営と活動に不馴れの点がありましたが、自治会設立の趣旨と自治会会則の精神を昂扬すべく基礎固めに努力致しました。今後之を基盤として、当自治会が発展することを祈念致します。

1 事業報告

(1) 総務関係

(イ) 総会の開催

昭和 45 年 3 月 22 日 設立総会を開催した。（35 世帯出席）

- ・ 会則の原案を一部修正し承認可決、
- ・ 会長以下、役員を選出
- ・ 45 年度の事業計画、予算は常任委員会に一任

(ロ) 常任委員会の開催

昭和 45 年 3 月 28 日 第 1 回 常任委員会を開催した。

“ “ 5 月 9 日 第 2 回 “ “

“ “ 8 月 1 日 第 3 回 “ “

“ “ 10 月 17 日 第 4 回 “ “

“ “ 11 月 7 日 第 5 回 “ “

昭和45年12月19日 第6回 常任委員会を開催した。

“ 46年 3月 7日 第7回 “ “

(ハ) 請願、要請書の提出

昭和45年 4月 6日 久留米町長に対し、地域環境に関する
請願書を提出した。

(市長、助役、関原課長に面接し、趣旨を説明して強く要請した。)

“ “ 8月15日 久留米町長に対し、街路灯(防犯灯)
の設置についての請願書を提出した。

“ “ 9月10日 西部バス株式会社に対し、バス運行に
関する要請書を提出(久留米西地区道
路対策協議会に加入の各自治会名)し
た。

(ニ) 届出書の提出

昭和45年4月6日 久留米町長に対し、自治会設立届を提
出した。

(ホ) 許可書の受領

昭和46年3月29日 東久留米市長より、自治会住宅案内掲
示板の設置(2ヶ所)につき許可書を
受領した。

(ヘ) 他団体への加入

昭和45年 9月 6日 久留米西地区道路対策協議会に加入し
た。

“ “ 10月20日 東久留米市自治会連合会に加入した。

(ト) 実施事項

昭和45年12月9日 東久留米市自治会連合会の照会事項
(連合会が市長に要望する内容に対する
当自治会の要求事項)について回答し、
殫力に推進するよう依頼した。

〃 〃 12月20日 東久留米市自治会連合会主催の市長外
市当局関係者を囲んでの会合に会長が
出席し、当自治会の要望を述べ早急に
実行方を依頼した。

〃 〃 〃 〃 自治会名簿を作成し、会員に配布した。

〃 46年4月4日 自治会住宅案内掲示板を設置した。
(2ヶ所)

昭和45年4月～46年3月 自治会ニュースNo.1～No.7を会員
に回覧した。

(チ) 会員数

昭和46年3月31日における会員数は、次の通りである。

第1地区	23
〃 2 〃	22
〃 3 〃	16
〃 4 〃	17
〃 5 〃	16
計	94世帯

(リ) その他

昭和45年5月23日 第1地区地区委員 渡辺輝男氏辞任、後
任として小沢真彦氏選任さる。

(2) 文化 関係

(イ) 昭和 45 年 11 月 3 日 東久留米市市制施行記念運動会に自治会として参加した。

(ロ) 文化放養を高め、又趣味娯楽を通じての懇親を深める会合の計画は、自治会発足当初でもあったので、実施できなかった。

(3) 交通安全関係

(イ) 西武バス及び道路拡幅対策

住宅公団滝山第 2 期団地の完成入居のときは、通勤時間帯における西武バスが異常に混雑し乗車不可能になる場合も起きると懸念されること並びに小金井街道が狭隘でバス運行を阻害しているので、拡幅する必要があることの 2 点を取り上げ、当自治会としても残りに運動することにした。運動の主なる内容と経緯は、次の通りである。

昭和 45 年 8 月 17 日 滝山団地の自治会に合同で運動に当たりたい旨の申し入れを行い、又関係自治会に呼びかけをした。

“ “ 8 月 24 日 西武バス滝山営業所長に面談し、増配車計画を申し、善処方申し入れた。

“ “ 9 月 6 日 各自治会連合会に出席し、対策及び運動方針を協議した。

(久留米西地区道路交通対策協議会の発足・加入)

“ “ 9 月 9 日 上記協議会に出席し、西武バスに増車、終車の延長その他についての要望書を

提出することにした(自治会連名)。

昭和45年10月8日 上記協議会に出席し、西武バスと折衝した。

(なお、私鉄運賃値上げ反対実行委員会に加盟の要請があったが、当自治会の設立趣旨からして、又特に政治的な行動はしないという原則から見合わせることにした。)

昭和45年12月9日・16日 西武バスと交渉した。

〔西武バスは、12月21日次の通り回答した。〕

- ・ ダイヤの悪改正
- ・ 武蔵小金井 ⇄ 東久留米・清瀬の用地迂回案
- ・ 終バスの延長困難

昭和45年12月25日 西武バスと再交渉した。

“ 46年1月24日 オノ回住民集会に参加した。

(バス運行の改善要求
都庁に対する道路拡幅要求)

“ “ 1月26日 東久留米西地区道路交通対策協議会
に出席した。

“ “ 1月30日 オノ回住民集会に参加した。

〔西武バスは、迂回路線案は白紙撤回したが、その他につ
いては不満足な回答をした。〕

昭和46年2月3日～5日 午前7時より8時までの横残し、満
員通過の実態調査に参加した。

昭和46年2月14日 上記協議会に出席し、実態調査結果の集計及び検討を行い、又実行方針について協議した。

〃 〃 2月18日 協議会々長外と共に、東京陸運局自動車部長、東京都知事室、都建設局におもむき、要望書、署名簿を提出して、それぞれ陳情した。

〃 〃 2月24日 上記協議会に出席し、北多摩建設事務所担当課長の説明を聴取した。

- ・ 46年度……新青梅街道まで一部を除き用地買収完了
(7月頃より着工、47年3月末完了予定)
- ・ 新青梅、東京街道、47年度に用地買収の計画

昭和46年2月26日 三多摩出身国会議員の現状視察に立会った。

(国会議員も実際方面にゆきかけると約束した。)

〃 〃 2月27日 上記協議会と西武バス本社との話し合いに参加した。

西武バス側の回答

- ・ ダイヤ改正——住民の意向をとり入れたい。
- ・ 朝のラッシュ緩和のダイヤを組みたい。
- ・ 花小金井駅の利用者が多いので、或る程度武蔵小金井駅の減車を了解してほしい。
- ・ 夕方のラッシュについては再調査する。
- ・ 整理員等のサービスについて検討する。

- ・終バス延長——陸運局の指示もあり、ノノ時まで延長することとを検討する。(東久留米駅は必要ない。)

昭和46年3月27日 上記協議会に出席し、打合せを行った。

“ “ 4月9日 西武バス本社との再度交渉に参加した。

西武バス側の回答

・終バス延長

6月1日実施目標として、下記案を組合に提示し労使間の調整に入っている。

武蔵小金井駅発 ～ 花小金井駅 ～ 滝山団地

(23.00)

(23.13)

- ・ダイヤ作成に当り、要員不足のため武蔵小金井～滝山団地の現行本数を維持することが困難であったので、一部を削り、花小金井～滝山団地を増強した。
- ・東久留米～武蔵小金井 清瀬～武蔵小金井のダイヤは変更しないが、総合的に再検討する。

(ロ) 児童通学上の交通安全対策

歩道橋設置の要求は、諸般の情勢からこゝ暫くは見送ることとし、又通学路問題は小学校当局、公安委員会、P・T・Aの三者間で具体化されていたので、当自治会としては運動しないこととした。

(3) 保健衛生関係

- イ) 当自治会発足後向もなく久留米町汚物処理実施要領(45.4.ノ実施)に基づき、ゴミ処理について各家庭に依頼し、その周知を図った。

(ロ) 昭和45年6月、大掃除の実施につき町当局と打合せした結果
住居移転後ノ年未滿の家庭が多いため、今回の実施は見合わせる
こととした。

(ハ) 昭和45年7月上旬、アメリカシロヒトリの発生について、町
当局に清毒を要望したところ、8月中旬実施された。

(ニ) 雑木林のゴミ処理について町当局に要望したところ、清毒及び
大物ゴミの処理がされた。

遊歩道の芝刈りについて再三町当局に要求したところ、9月に
実施された。

(ホ) 昭和45年9月、ゴミ処理について再度各家庭に依頼した。同
時にダストボックスの増設を町当局に要望したところ、3地区と
4地区の間に1個設置された。

(ヘ) 側溝の土砂排除について市当局に要望したところ、実施中であ
る。

(ト) 昭和46年3月、再度5地区にダストボックスの増設を市当局
に要望したところ、つばき公園北側に設置された。

(4) 防火防犯関係

(イ) 盗難事故発生に当り、昭和45年8月15日、街路灯(防犯灯)
の緊急設置方を町長宛申請し、その後何回も交渉した結果、13
ヶ所増設された。

(ロ) 警察署及び防犯協会の行なう防犯運動に積極的に協力し、防犯
特報等を回覧又は配布して、防犯についての周知徹底を図った。

(ハ) 火災予防について、消火器の設置を推奨し、家庭用優良消火器
の購入を斡旋した。

(二) 住宅専用地区としての環境を阻害するような不正建築や違法建築物は、厳重に監督指導してこれを阻止するよう再三都北部事務所に要望した。

(木) つばき公園の整備について植樹及び遊戯施設の維持管理等を市当局に申請した。

その結果、予算措置との関連から充分とは云えないまでも或る程度の実施がなされた。

(ハ) 建設飯場及び材料置場の火災予防措置並びに整頓等について、

再三業者に注意を促がすと共に警察、消防署にも巡視を依頼した。

(ト) 当自治会の環境維持及び美化の対策を検討するために、地主調査等を行なった。

2 会計報告

昭和45年度収支決算報告書

(自昭和45年3月22日)
(至昭和46年3月31日)

収入の部

科 目	金 額	摘 要
会 費	101,000	年度末会員数 才ノ地区 23 " 2 " 22 " 3 " 16 " 4 " 17 " 5 " 16 計 94 世帯
雑 収 入	1,962	増田喜美子氏1,000円寄附受入れ他
利 息	238	普通預金利息
合 計	103,200	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
印刷費及文房具費	23,565	会員名簿、自治会印判、会則、 請願書タイプ、資料印刷等
慶弔費	3,000	榎本、相川、伊藤(子吉) 家香典
分 担 金	1,640	東久留米西地区道路交通対策協議会分担金
住居案内揭示板 複製取付費	23,000	2ヶ所設置
会 合 費	900	常任委員会
(計)	(52,105)	
-		
翌年度繰越金	(51,095)	埼玉銀行久留米支店普通預金
合 計	103,200	

上記の通り相違ありません。

昭和46年4月18日

前沢4丁目自治会

会 長	伊 藤 正 春
副 会 長	松 下 広 志
常任委員	渡 辺 浩 二
〃	武 田 実
〃	落 合 国 雄
〃	小 林 敏 夫
〃	辻 紳 一
地区委員	小 沢 真 彦
〃	沢 田 勘 一
〃	依 田 昭 三
〃	相 川 操
〃	南 弘

上記会計報告を監査したところ、その正確にして妥当であることを認めます。

昭和46年4月20日

会計監査 押 田 統 助